

第35代 部長 藤井 利彦

『 繋(つなぐ) 』

～ とともに成長を～

1967年(昭和 42年)に神辺町商工会青年部は創立されました。今年度で創立56年目。もうすぐ60周年を迎えます。この歴史ある青年部において、脈々と繋がれてきた歴史は一言では表せない価値があり、現在その青年部に所属している事を誇りに思います。しかし、一昨年、昨年と多くの先輩が青年部における定年制により卒業を迎えられ、青年部の近代史を知る仲間が少なくなったのも現状です。

60周年に向け、今一度歴史を振り返り未来の青年部に繋げる活動も必要だと考えます。青年部では普段交流が得られない人脈に出会えたり、経営における悩みや手法・新しいことに挑戦するときに気軽に相談できる仲間や先輩方・事務局があります。この環境を最大限に活用し、自社経営の発展また自己研鑽に励み、自発的に多くの諸先輩・仲間と交流し繁りをもち、ともに成長して参ります。

【明日へと繋がる経営力向上】

私たち青年部は、若き事業家の組織です。時代が目まぐるしいスピードで変化しています。10年が5年、5年が3年と、ひと昔前とは比べ物になりません。そんな時代に生きる我々だからこそ、しっかりと自社の経営判断に必要な情報をつかみ取る必要があります。個々の事業へ直接的に関係しない事も、俯瞰的に関わりみんなどは違った目線で捉え、自社の事業に置き換えることも出来ます。経営者はすべてが勉強です。あらゆる切り口で経営とはなにか？を自身に問いながら、例会に限らず、すべての青年部時間の中で仲間とともに課題解決や自社改革に取り組み、激動の時代をともに乗り越えて参ります。

【地域と繋がるまちづくり】

現在当青年部では、近隣地域の自治会や中学生・高校生とともに行うまちづくりを活発に行っています。今までは事業年度が単年であるがゆえ、またコロナウィルス感染症の影響もあり継続事業としての実施が難しくなっていたまちづくり事業ですが、現在行っている Meets かなべが継続事業として今後も5年・10年と続く事業になると思います。そのためには引き続き地域の宝である若者たちとの交流を積極的に図り、神辺の魅力発信を行うとともに、地元企業との関わり場を作り、地域の商工業を知ってもらい、帰ってきたい地元づくり・就職したいまちづくりを行いたいと考えます。

【一生涯繋がれるなかまづくり】

なかまづくりが、青年部で活動することの一番の魅力と考えます。同じ時代に活動する仲間との日々の会話の中から生まれる、経営に関するヒントがたくさんあります。また OB の先輩方とも積極的に交流を図ることで、いままでより、一層の人脈の拡大やビジネスチャンスも広がります。同じ地域で事業を営む者同士、似たような悩みや問題を抱えているのも事実です。そんな時、一番頼りになるのが青年部の仲間です。交流は青年部活動の場に限らず、信頼しあえる関係を構築し、腹を割ってなんでも話し合え、一生付き合いの出来るなかまづくりを行って参ります。